

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2014-520068(P2014-520068A)

【公表日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2014-505323(P2014-505323)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/498	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/498	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	31/12	

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

-2アドレナリン受容体に対して、-1アドレナリン受容体と比較して300倍以上の結合親和性を有する選択的-2アドレナリン受容体作動薬または医薬として許容されるその塩を含む組成物であって、pHが約4.0と約8.5の間である、組成物。

【請求項2】

選択的-2アドレナリン受容体作動薬が、ロフェキシジン、アブロクロニジン、ミバゼロール、クロニジン、ブリモニジン、メチルドーパ、グアンファシン、デクスマデトミジン、(+)-(S)-4-[1-(2,3-ジメチル-フェニル)-エチル]-1,3-ジヒドロ-イミダゾール-2-チオン、1-[(イミダゾリジン-2-イル)イミノ]インダゾールおよびこれらの化合物の混合物からなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

-2アドレナリン受容体作動薬が、約0.001重量/体積%から約0.05重量/体積%の間の濃度で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

-2アドレナリン受容体作動薬が、約0.01重量/体積%から約0.025重量/体積%の間の濃度のブリモニジンである、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

組成物が約0.1から約0.5重量/体積%の間の塩化カリウムをさらに含み、-2アドレナリン受容体作動薬がブリモニジンであり、ブリモニジンの濃度が約0.01重量/体積%から約0.025重量/体積%の間であり、組成物のpHが約5.0と約8.0

の間である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

鼻の状態を治療する必要がある患者の鼻の状態を治療する方法であって、医薬として有効な量の請求項 1 に記載の組成物を患者に投与するステップを含む、方法。

【請求項 7】

鼻の状態が最小限の鼻甲介腫脹と共に重度の鼻汁を伴っている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

鼻の状態が血管運動性鼻炎を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

鼻の状態が鼻甲介のかなりの肥大および／または鼻道の物理的な閉塞を伴っている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

鼻の状態がアレルギー性鼻炎、ウイルス性鼻炎および睡眠時無呼吸からなる群から選択される状態を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作動薬がかなりの粘膜への浸透および粘膜下への透過を達成するために十分な親油性のブリモニジンである、請求項 9 に記載の方法。